

2022年度事業報告書

2022年 1月 1日から 2022年 12月 31日まで

(法人の名称：特定非営利活動法人動物解放団体リブ)

1 事業の成果

【調査事業】

今年度の最も重要な事業は、鯨族利用問題に関するあらゆる調査と、その結果をまとめた書籍「イルカ・クジラ解放」の執筆でした。

新たに活動を始める活動家それぞれが、0から勉強しトライ&エラーを繰り返すのではなく、蓄積された知識や考え方の土台の上からスタートできるようにサポートするのが本書の役割です。

【教育事業】

教育事業とは、動物利用問題について広く一般に情報を届けたり、活動家をサポートするための事業の総称です。

今年は、動物利用問題と動物解放活動に関するインターネット上の情報基盤構築の必要性から、ウェブサイトのリニューアル計画を開始しました。4月にクラウドファンディングを開始し、そこからリニューアルの具体的な計画を設計し始め、エンジニア探しなどを開始しました。今年度中にリニューアルは完成しませんでした。来年序盤に完成を目指して作業を進めています。

また、今年開始した学びのコミュニティづくりでは、「読書くらぶ」「映画くらぶ」を開始しました。それぞれ、読書と映画鑑賞を通して動物利用問題や動物解放活動に関連する知識を学び、仲間と繋がる場所です。読書くらぶは開始した6月から基本毎週開催し、定期的に生活の中で動物利用問題を学べる場所、そして仲間と繋がる場所としての機能を果たすことができています。

また、活動家への知識共有として様々なゲストとの対談も行いました。学校の教師として、レストランのオーナーとして、活動家として、メンタルヘルスの視点、学術的な視点からなど、様々なゲストをお呼びすることで多角的な視点から活動を考える機会を提供してきました。

そして事業を支える組織の基盤を構築することにも注力し、管理業務の効率化を図ることで、次年度以降の事業をさらに効果的に行えるように努めました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
動物利用に関する、調査・研究事業	【鯨族利用に関する現場調査、文献調査】 今年度は主に鯨族利用に関する文献調査や各施設の情報開示請求など、現場調査以外の調査活動を行いました。一部、沖縄県のイルカ漁に関する調査は現場で行	(A) 通年 (B) オンライン、 沖縄県 (C) 2人	(D) 鯨族利用問題に関心のある人たち (E) ※調査結果公開前だったため受益者	1,949千円

	い、イルカ漁に関する資料の調査も行いました。		なし	
動物利用問題、動物と人間の共生社会の提案に関する、啓発事業	【書籍「イルカ・クジラ」解放の執筆】 調査と並行して、年間を通して書籍の執筆を行いました。	(A) 通年 (B) オンライン (C) 1人	(D) 鯨族利用問題に関心のある人たち (E) ※書籍出版前だったため受益者なし	
動物利用に関するデータの収集分析公開を行う、データベース事業	【動物利用問題の分析、Webを通じた調査結果の公開】 調査の結果を適宜サイトやSNS等のウェブ上にアップし、必要な情報を誰でも自由に閲覧できる状態にしました。	(A) 通年 (B) オンライン (C) 2人	(D) 動物利用問題、動物解放に関心のある人たち (E) 284, 220人	1, 185千円
	【動物解放のための総合サイト作成に向けたウェブサイトリニューアル】 動物利用問題や動物解放に関する体系的な知識基盤を作成するために、リニューアルの計画をスタートさせました。	(A) 通年 (B) 事務所、オンライン (C) 5人	(D) 動物利用問題、動物解放に関心のある人たち (E) ※公開前のため受益者なし	
動物利用問題、動物と人間の共生社会の提案に関する、啓発事業	【映画くらぶ】 映像を通して動物利用問題を気軽に学べる場所を作りました。	(A) 9/24, 11/12 (B) オンライン (C) 2人	(D) 動物利用問題、動物解放に関心のある人たち (E) 26人	
	【講演会】 依頼を頂いた際に、全国各地で動物利用問題やリブの活動についてお話ししました。	(A) 5/1, 5/2, 7/12, 10/8 (B) 東京都、沖縄県 (C) 1人	(D) 動物利用問題、動物解放に関心のある人たち (E) 34人	
動物解放活動及び非営利事業を行う個人・団体への、支援事業	【読書くらぶ】 読書を通して動物利用問題や動物解放に関する知識を身につけ、感想を共有し仲間と繋がることのできる場所づくりを行いました。これまで3冊の本を読み、最終回にはゲストを迎えてより深い理解形成に繋がるような機会を作りました。	(A) 6月～12月 (B) オンライン (C) 2人	(D) (D) 動物利用問題、動物解放に関心のある人たち (E) 150人	
	【活動家対談】 動物解放のために活動している人をゲストに迎え、動物擁護者に向けて様々なテーマで対談を行いました。	(A) 1/22, 2/5, 2/12, 3/5, 3/11, 8/13, 8/20 (B) オンライン (C) 2人	(D) 動物利用問題、動物解放に関心のある人たち	

			(E) 7,417人	
	<p>【不安や焦りを抱えている ヴィーガン・活動家向けの ワークショップ】</p> <p>活動家特有の不安や焦りなど を解決するための知識や経 験を伝えました。</p>	(A) 7/16 (B) オンライン (C) 1人	(D) 動物解放 活動をして いる人たち (E) 11人	
動物利用問 題、動物と 人間の共生 社会の提案 に関する、 啓発事業	<p>【リーフレット】</p> <p>これまで同様、動物利用問題 について説明したリーフ レットの作成、発送を行い ました。また、既存のリー フレットをさらに見やすく するためにリニューアルも 行いました。</p>	(A) 通年 (B) 事務所 (C) 2人	(D) 動物利用 問題につい て興味のある 人たち (E) 31名	25千円
動物解放活動 及び非営利 事業を行う 個人・団体 への、支援 事業	<p>【太地イルカ漁ツアー】</p> <p>イルカ漁解決の鍵は、多様な 活動家が参画し、多様な活 動を行うことだと言う考え のもと、イルカ漁船の出港 から、イルカ漁の終わりま でを、一緒に行動しながら 解説しました。</p>	(A) 2/26~2/28 (B) 和歌山県 (C) 2人	(D) 日本のイ ルカ漁に関 心を抱いて いる人たち (E) 12人	23千円

2022年度 活動計算書

会計年度：2022年1月1日～2022年12月31日

(法人の名称：特定非営利活動法人動物解放団体リブ)
(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	50,000	50,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	1,609,643		
マンスリーサポーター	1,379,894	2,989,537	
3 受取助成金等			
受取民間助成金	231,543	231,543	
4 事業収益			
特定非営利活動事業収益	0	0	
5 その他収益			
受取利息	50		
雑収益	89,036	89,086	
経常収益 計			3,360,166
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
役員報酬	201,600		
給料手当	1,880,000		
法定福利費	252,849		
人件費 計	2,334,449		
(2) その他経費			
取材費	6,600		
業務委託費	110,000		
印刷製本費	25,085		
旅費交通費	125,798		
車両費	131,212		
通信運搬費	142,842		
消耗品費	103,680		
諸会費	4,152		
租税公課	43,760		
減価償却費	131,653		
研修費	3,000		
支払手数料	7,730		
新聞図書費	11,901		
その他経費 計	847,413		
事業費 計		3,181,862	
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	50,400		
法定福利費	4,554		
人件費 計	54,954		
(2) その他経費			
印刷製本費	3,261		
旅費交通費	5,420		
車両費	112,124		
通信運搬費	19,002		
消耗品費	99,772		
貸借料	19,800		
諸会費	9,000		
租税公課	2,850		
研修費	1,000		
支払手数料	133,210		
新聞図書費	965		
減価償却費	32,913		
支払報酬	11,079		
雑費	23,291		
その他経費 計	473,687		
管理費 計		528,641	
経常費用 計			3,710,503
当期経常増減額			△350,337
III 経常外収益			
経常外収益計		0	
IV 経常外費用			
経常外費用計		0	
当期経常外増減額			0
税引前当期正味財産増減額			△350,337
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			△350,337
前期繰越正味財産額			1,271,149
次期繰越正味財産額			920,812

(法第28条第1項関係様式例)

2022年度 貸借対照表

2022年12月31日現在

(法人の名称：特定非営利活動法人動物解放団体リブ)

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	1,105,695	
流動資産合計		1,105,695
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	1	
工具器具備品	119,900	
有形固定資産計	119,901	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		119,901
資産合計		1,225,596
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	204,743	
預り金	100,041	
流動負債合計		304,784
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		304,784
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		1,271,149
当期正味財産増減額		△350,337
正味財産合計		920,812
負債及び正味財産合計		1,225,596

(法第28条第1項関係様式例)

財 産 目 録

2022年12月31日現在

(法人の名称：特定非営利活動法人動物解放団体リブ)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	8,329		
ゆうちょ銀行	776,856		
楽天銀行	77,430		
楽天銀行ビジネス口座	243,080		
流動資産合計		1,105,695	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具			
自動車	1		
什器備品			
パソコン 1台	119,900		
有形固定資産計	119,901		
固定資産合計		119,901	
資産合計			1,225,596
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
給料	180,851		
クレジットカード	23,892		
預り金			
源泉所得税、社会保険料	100,041		
流動負債合計		304,784	
負債合計			304,784
正味財産			920,812

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却額	期末帳簿価額
有形固定資産					
車両運搬具	44667			44666	1
工具器具備品	239800			119900	119900
合計	284467			164566	119901

3.

その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費と管理費の按分方法

共通経費は8：2で按分している。